

## 第6章 河原町地区の課題・問題点

河原町地区の課題・問題点については、全体構想を策定する際に実施した市民意見募集においていくつかの意見をいただきました。そして、これまで4回開催した「河原町地区交通バリアフリー移動円滑化基本構想策定連絡会議」（以下「連絡会議」といいます。）において数多くの意見をいただきました。また、連絡会議の下に設置した分科会により現地踏査（以下「現地踏査」といいます。）を実施し、阪急河原町駅や特定経路、準特定経路を主体とした道路などの実態を調査して、詳細な課題・問題点を抽出し、意見交換を行いました。

ここに、これらの概要として、主な課題・問題点及び改善要望などをまとめました。

### 1 阪急河原町駅の課題・問題点

以下の区分に基づいて、阪急河原町駅の課題・問題点及び改善要望などの概要を示します。

- ア 利用動線：段差解消の状況やエレベーター、エスカレーターの設置状況など
- イ 情報案内設備：誘導・警告ブロックの設置状況やホーム上での音声・文字情報案内の状況など
- ウ 利便設備：車いす対応型トイレや休憩設備（ベンチ、待合室）の設置状況など
- エ 個別設備：券売機や改札口の状況など

この区分に基づく阪急河原町駅のバリアフリー状況を表一8に示します。また、阪急河原町駅の課題・問題点マップを図一10、図一11に、京阪四条駅の課題・問題点マップを図一12に示します。

#### ア 利用動線

- (ア) 高島屋店舗内のエレベーターを利用することが可能だが、自由に乗降できる時間帯が限られているので、地上とホームをつなぐエレベーターを設置してほしいとの要望があります。
- (イ) 東改札口とホームとを結ぶエレベーターを設置してほしいとの要望があります。
- (ウ) 東西連絡階段の手すりが片側にしか設置されていないので改善してほしいとの要望があります。
- (エ) 中央改札口のみ階段昇降機が設置されていますが、準備に時間がかかるので利用しにくいとの指摘があります。

#### イ 情報案内設備

- (ア) 改札口から主要な階段へ誘導する視覚障害者誘導用ブロックが設置されていない箇所があるので改善してほしいとの要望があります。
- (イ) 視覚障害者誘導用・警告用ブロックが、磨耗して認識しにくくなっている箇所があるので改善してほしいとの要望があります。また、階段の上端・下端部に警告用ブロックが設置されていない箇所があるので改善してほしいとの要望があります。
- (ウ) ホーム縁端警告用ブロックにプラットホームの内方向を示す内方線が設置されていないことが、連絡会議の中で指摘されています。
- (エ) 階段手すりの点字表示の位置が分かりにくいので改善してほしいとの要望があります。
- (オ) 券売機の点字運賃表の位置が分かりにくいので改善してほしいとの要望があります。
- (カ) ホーム上及びコンコース付近のエスカレーターやトイレなどの案内表示が分かりにくいので改善してほしいとの要望があります。
- (キ) 路線図や料金表の文字が小さく、表記内容が分かりにくいので改善してほしいとの要望があります。また、分かりやすい位置に設置してほしいとの要望があります。

## ウ 利便設備

- (7) ホームのトイレが障害者対応になっていないので多機能トイレを設置してほしいとの要望があります。
- (イ) 高齢者の方でも利用しやすいよう手すりを設置してほしいとの要望があります。
- (ロ) 洋式トイレを増やしてほしいとの要望があります。

## エ 個別設備

- (7) 券売機の設置位置が高く利用しにくいので改善してほしいとの要望があります。
- (イ) 券売機の下蹴り込みがなく、車いすでは利用しにくいので改善してほしいとの要望があります。
- (ロ) 東改札口の自動改札機の幅が車いすに対応していないので改善してほしいとの要望があります。

## 2 京阪四条駅の課題・問題点

京阪四条駅の課題・問題点及び改善要望などの概要を示します。

### ア 利用動線

- (7) 北改札口とホームとを結ぶエレベーターは、一部の時間帯が係員呼び出しの対応となっています。

### イ 情報案内設備

- (7) 改札内外のエレベーター及びトイレへの視覚障害者誘導用ブロックが設置されていません。また、エスカレーター乗降口前に警告用ブロックが設置されていません。
- (イ) ホーム及びコンコースに設置されているフラップ式の列車運行情報表示板について、多様な情報が表示できる電光式表示板に改善してほしいとの要望があります。
- (ロ) 地下コンコースと地上とを結ぶエレベーターの手前の通路において、視覚障害者誘導用ブロックが途切れている区間があります。
- (ハ) ホーム縁端警告用ブロックについて、プラットホームの内方向を示す内方線が設置されていないので改善してほしいとの要望があります。
- (ニ) ホーム上、コンコース及び地上におけるエレベーターの案内表示について、分かりにくいので改善してほしいとの要望があります。
- (ホ) トイレの前の階段及びスロープにおいて、上り口及び下り口への警告ブロック並びに手すりの点字表示板が設置されていません。
- (ヘ) トイレ入口付近において男女別及びレイアウトなどを示す点字案内板が設置されていません。

## ウ 利便設備

- (7) オストメイト対応の車いす対応型トイレが設置されていますが、段差解消されたホームへの経路とは別の改札口内にあります。
- (イ) 一般トイレにベビーキープ設備が設置されていますが、男子用トイレには設置されていません。

## エ 個別設備

- (7) 券売機の下に蹴り込みが設置されていますが、車いす利用者にとって十分ではありません。

### 3 その他の施設における課題・問題点

阪急河原町駅と道路，周辺商業施設等を結ぶ経路における，課題・問題点及び改善要望などの概要を示します。

#### ア 利用動線

- (ア) スロープの手すりが，片側にしか設置されていないので改善してほしいとの要望があります。
- (イ) スロープの手すりの位置が高く，また，点字表示が設置されていないので改善してほしいとの要望があります。

#### イ 情報案内設備

- (ア) 高島屋西のエレベーターについて，場所を示す案内表示及び行き先を示す案内表示を設置してほしいとの要望があります。
- (イ) 高島屋西のエレベーターのかご内の両側に車いすの方のための操作盤を設置してほしいとの要望があります。
- (ウ) 高島屋西のエレベーター前からスロープにかけて，視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしいとの要望があります。
- (エ) 地下通路と地上とを結ぶ連絡階段の下端部に視覚障害者警告用ブロックが設置されていません。
- (オ) スロープの上端に視覚障害者警告用ブロックを設置してほしいとの要望があります。

表-8 阪急河原町駅のバリアフリー状況

鉄 道 名		阪急電鉄		京阪電気鉄道		
路 線 名		京都線		京阪本線		
駅 名		河原町駅		四条駅		
駅 の 構 造		地下駅		地下駅		
1 日平均乗降客数(平成 17 年)		68,052 人		47,957 人		
最大段差	出入口～改札口(改札外)	5.55m		4.47m		
	改札口～プラットホーム(改札内)	4.35m		4.47m		
段差解消の状況	出入口～改札口(改札外)	×	高島屋エレベーターを利用可(営業時間内のみ)	○	有り	
	改札口～プラットホーム(改札内)	△	階段昇降機有り	○	有り	
情報案内設備	誘導用・警告用ブロックの設置状況	○	券売機～改札口～プラットホームに連続して有り(トイレへの誘導等，一部未整備)	○	券売機～改札口～プラットホームに連続して有り(EV, トイレへの誘導等，一部未整備)	
	ホーム上での運行情報設備	音声案内	○	有り	○	有り
		文字情報	○	有り	○	有り
	券売機に併設した点字料金表示	○	有り	○	有り	
利便施設	トイレ	×	車いす対応型トイレ無し	○	オストメイト対応の車いす対応型トイレ	
	休憩設備	○	ベンチ有り	○	ベンチ有り	
個別設備	プラットホーム	○	ホーム端の転落防止柵及びホーム上の警告用ブロックが共に有り	○	ホーム端の転落防止柵及びホーム上の警告用ブロックが共に有り	
	券売機	×	無し	○	有り	
	改札口	○	幅90m以上の改札口有り	○	幅90m以上の改札口有り	

図-10 阪急河原町駅（コンコース階）及び連絡通路等の課題・問題点

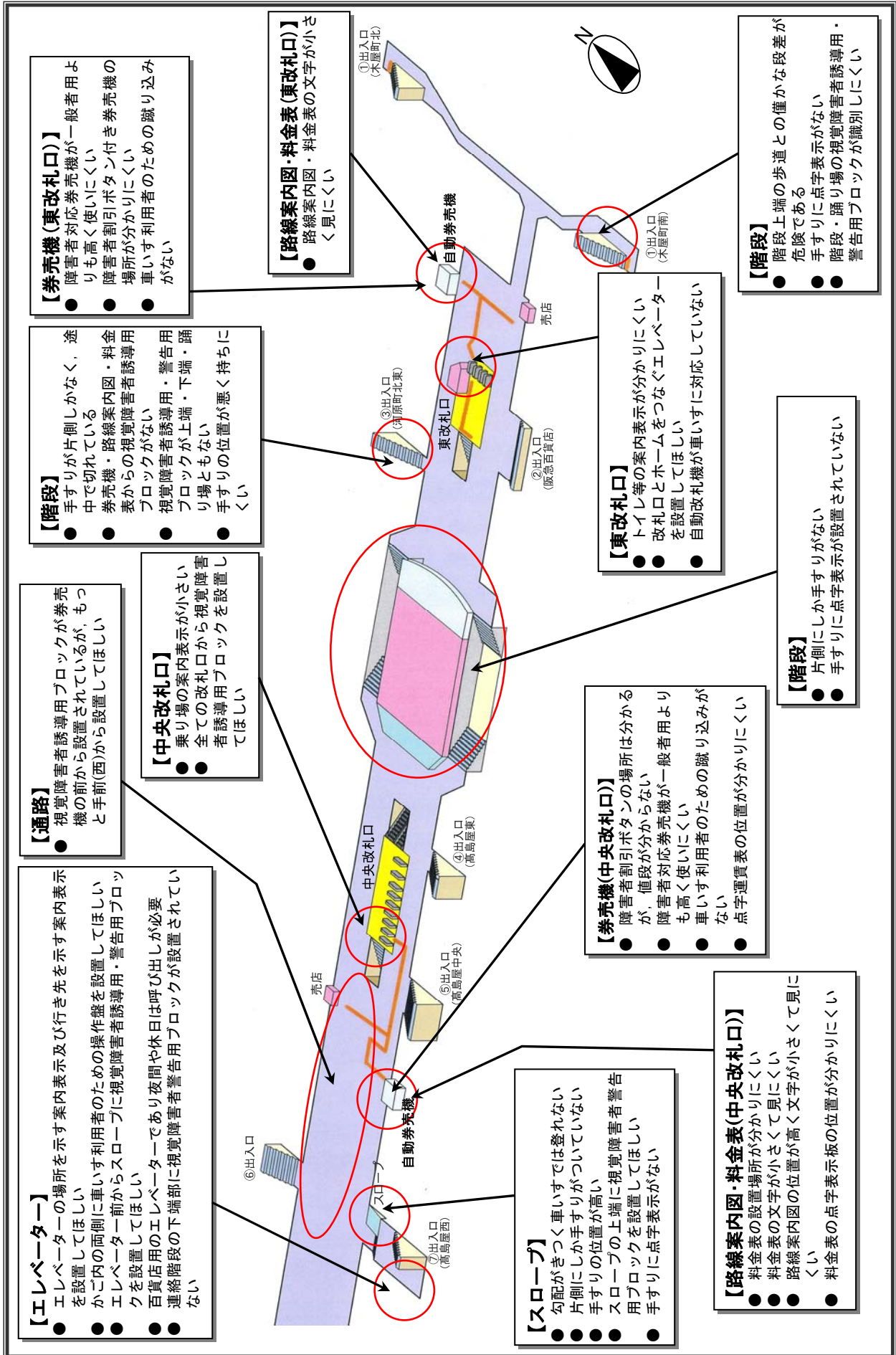


図-11 阪急河原町駅（ホーム階）の課題・問題点

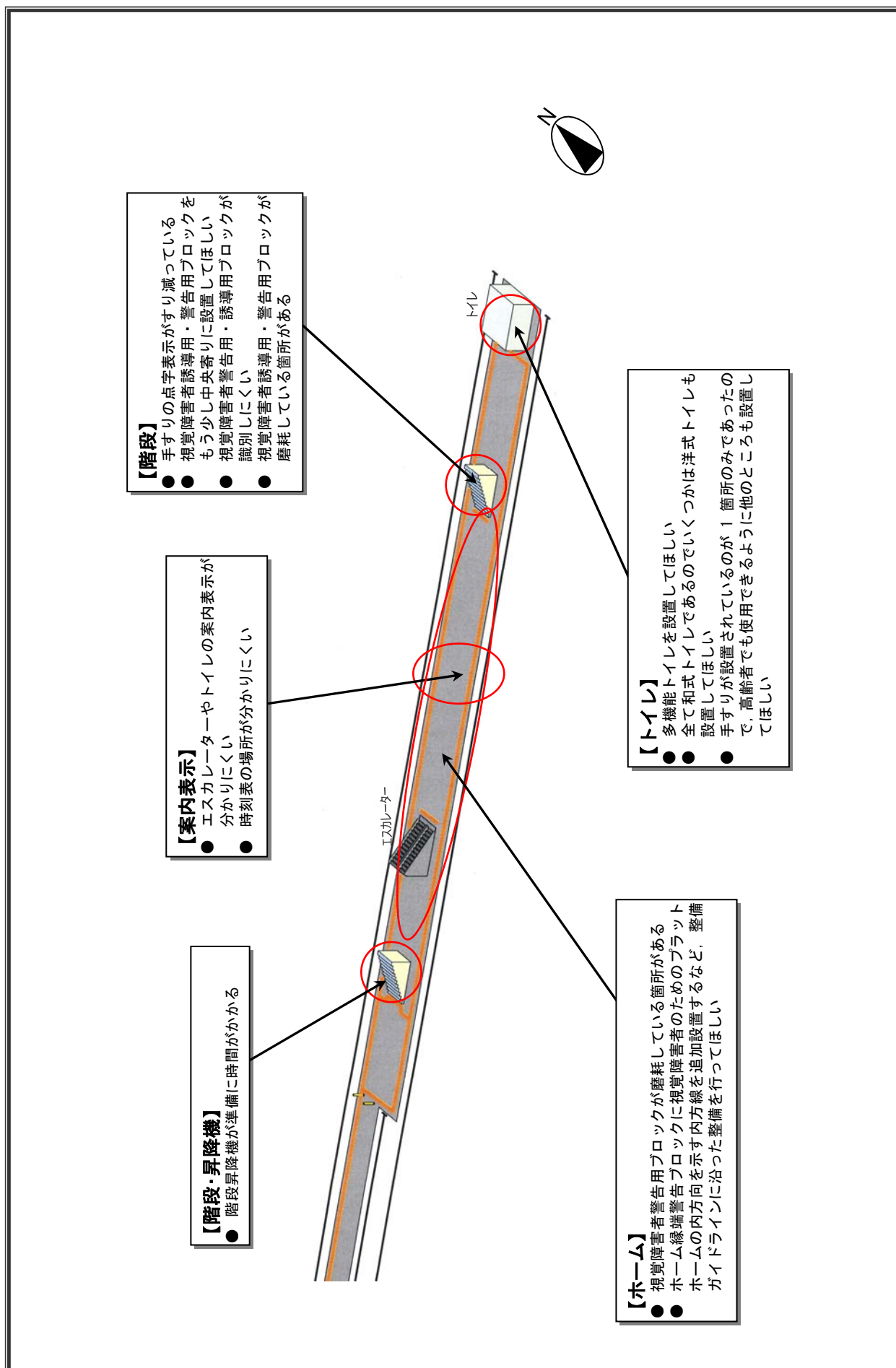
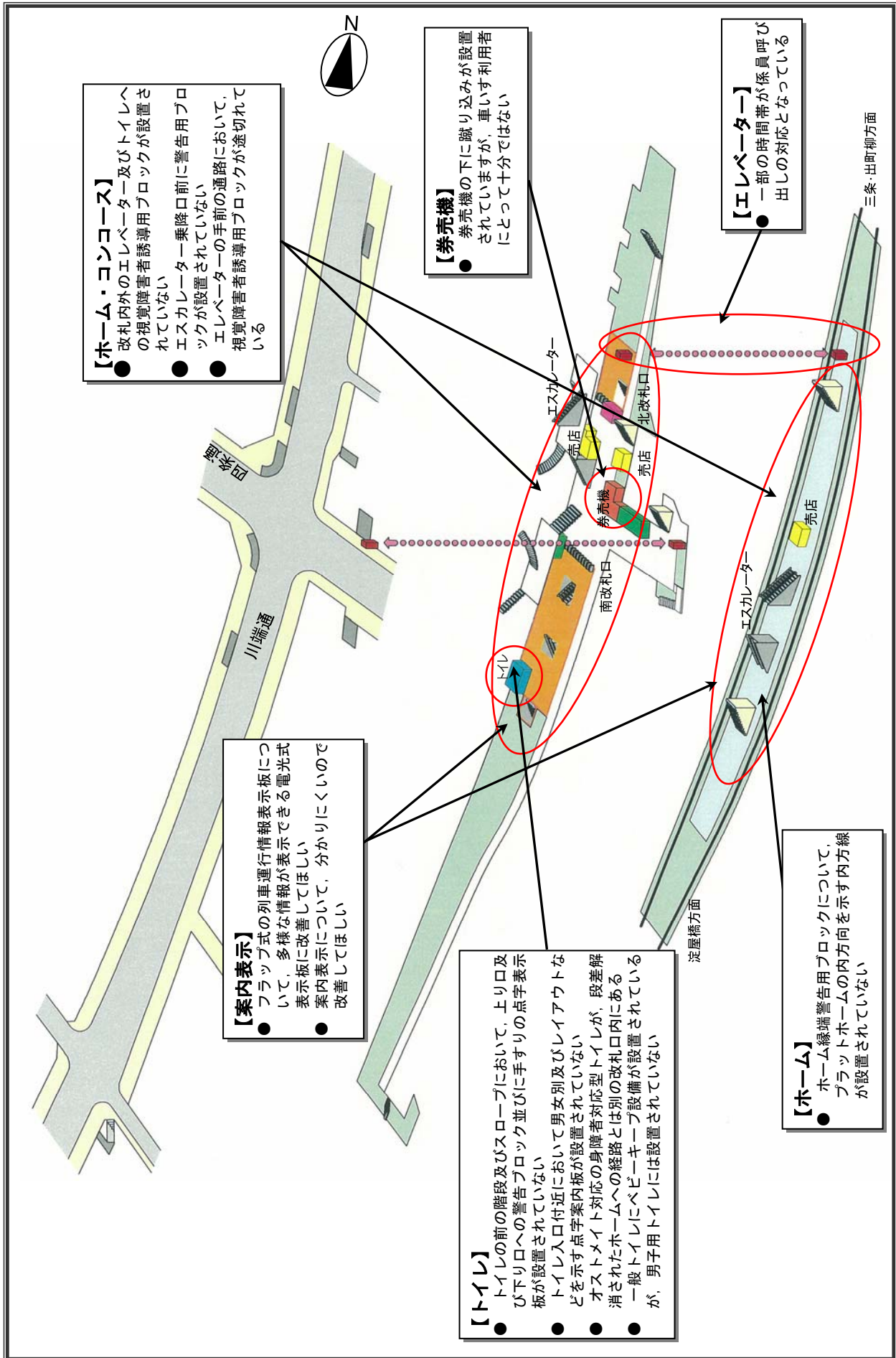


図-12 京阪四条駅の課題・問題点



### 3 周辺道路等の課題・問題点

#### (1) 特定経路Ⅰ（四条通：四条柳馬場～四条河原町）

両側に2m以上の歩道が整備されていますが、バス停付近では多くの方が溜まっているので整理してほしいとの要望があります。また、歩道上の放置自転車、看板・商品のはみ出しなどが通行の支障となっているので改善してほしいとの要望があります。また、歩車道の段差が大きいとの指摘があります。さらに、視覚障害者誘導用・警告用ブロックの色が舗装面と同系色で識別しにくいとの指摘があります。

これらの課題・問題点は、特定経路Ⅱ及び特定経路Ⅲにおいても同様に指摘・要望されております。

#### (2) 特定経路Ⅱ（河原町通：四条河原町～河原町御池）

歩車道境界の段差が大きくなり勾配も大きいので改善してほしいとの要望があります。また、雨の日は舗装が滑りやすいとの指摘があります。

四条河原町交差点において、横断歩道上の舗装が凸凹で歩きにくいとの指摘があります。また、四条河原町交差点を歩行者と車両を分離するスクランブル交差点にしてほしいとの要望があります。さらに、三条河原町交差点の音響信号が聞こえにくいとの指摘があります。

#### (3) 特定経路Ⅲ（四条通：四条河原町～祇園交差点）

四条大橋において、縦断勾配が急になっているので改善してほしいとの要望があります。また、木屋町通交差点及び花見小路交差点において、信号機に音響装置が設置されていないとの指摘があります。

#### (4) 特定経路Ⅳ（河原町通：河原町仏光寺～四条河原町）

両側に2m以上の歩道が整備されていますが、看板や放置自転車などの障害物が多く、通行に支障となっているので改善してほしいとの要望があります。また、駐車場の乗り入れ部の勾配が大きいので改善してほしいとの要望があります。さらに、仏光寺通交差点において、信号機に音響装置が設置されていないとの指摘があります。

#### (5) 準特定経路Ⅰ（寺町通：四条寺町～寺町仏光寺）

路上駐輪が非常に多く、看板も道路にはみ出しているため、通行に支障があるとの指摘があります。

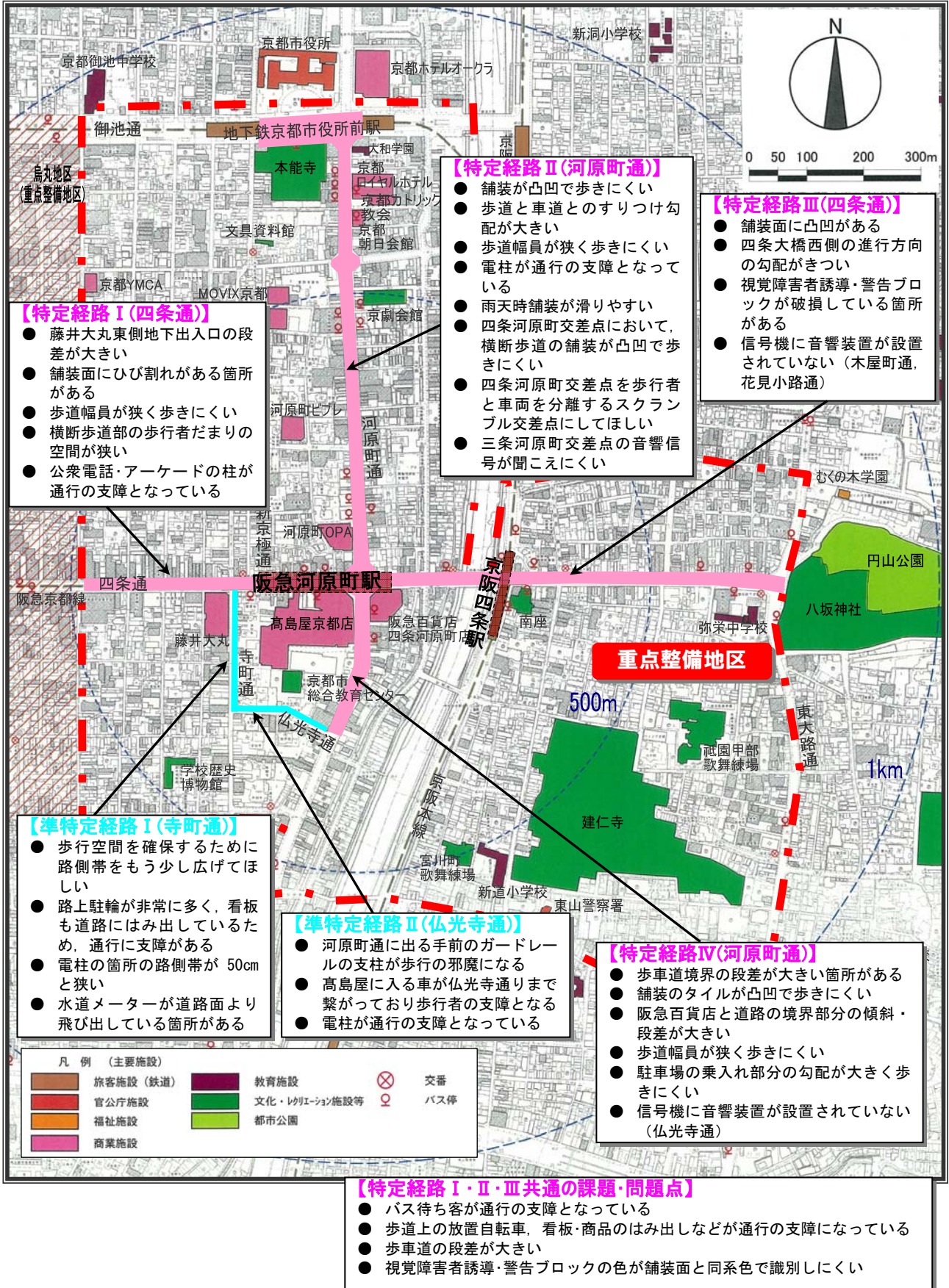
#### (6) 準特定経路Ⅱ（仏光寺通：河原町仏光寺交差点～寺町仏光寺）

片側に歩道が設置されていますが、歩道に電柱等があり、通行に支障があるとの指摘があります。

#### (7) その他の道路

河原町地区の道路では、路上駐輪が非常に多く、看板や商品なども道路にはみ出しているため歩行者の通行に支障があります。また、歩道の有無に関わらず、電柱などの歩行者通行の支障になるものがあり、歩行空間が狭くなっている箇所があります。歩道のない道路では歩く場所が明確になっていないなどの指摘があります。

図-13 道路などの課題・問題点





#### 4 河原町地区の交通の課題

河原町地区は、京都市の中心的な繁華街、伝統的な町並みなど、京都の活力と魅力が凝縮されていることから、『にぎわいと歴史あふれ、歩いて楽しいおもてなしのまち』として、まちづくりを進めています。

そのためには、そこで生活する住民や数多く訪れる人々が、安心して快適に歩くことができる「まち」にする必要があります。

しかし、現在は、幹線道路の慢性的な渋滞、細街路における多くの通過車両及び多くの放置自転車など様々な交通問題を抱えています。このような状況では、交通バリアフリーの取組の効果も減少してしまいます。

このため、当該地区のバリアフリー化を推進するためには、地区の交通問題に対する京都市の他の施策と連携し地区の交通環境を含めた取組が必要です。